

令和2年第1回(3月)定例会〈会期日程〉

2月18日・21日 25日・26日

2月28日・3月2日 3日・4日・12日

3月13日

3月17日

本会議 開会 会期の決定 施政方針 教育行政方針 陳情の委員会付託 議案内容説明 議案審議・議案の総括質疑 議案の常任委員会付託

常任委員会 議案及び陳情の審査 予算議案の審査

本会議 議案内容説明(追加議案)

本会議 委員会審査報告及び採決 議案審議(追加議案)・緊急質問 議員提出議案審議 副議長の辞職及び選挙 議事運営委員会委員の選任 特別委員会の設置及び委員の選任 閉会中の所管事務調査(行政視察) 閉会



令和2年度予算可決

令和2年第1回(3月)定例会が、2月18日から3月17日までの29日間にわたって行われました。今定例会では、令和2年度の一般会計当初予算案(365億7181万1000円)をはじめ、特別会計と企業会計を合わせた令和2年度当初予算案8件がすべて原案のとおり可決しました。当初予算案以外では、富士見地域福祉計画審議会条例の制定や令和元年度一般会計補正予算(第7号)、3件の工事変更請負契約の締結議案、5件の人事案件、1件の追加議案など34件の案件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。市民などから提出された陳情2件については、不採択としました。議員提出議案9件については、4件を原案のとおり可決し、5件は否決としました。議会最終日においては、令和3年度から始まる「富士見市総合計画」の策定に向け、全議員で構成する総合計画検討特別委員会を設置。また、議会内人事として副議長の辞職・選挙及び議会運営委員会委員の選任が行われました。なお今定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況の中行われた議会ということも、傍聴の自粛や市政一般質問の取りやめ、緊急質問の実施など、異例の対応を行った定例会となりました。

令和2年第1回(3月)定例会 審議結果

Table with 2 columns: 議案等番号 and 議案等の名称. Lists 26 items including budget amendments, personnel appointments, and ordinance changes.

Table with 3 columns: 議案等番号, 議案等の名称, and 審議結果. Includes a grid for voting results by party (21-Future Club, Grassroots, etc.) and individual members.

※表中、会派の「絆」は市民の絆 「維」は日本維新の会を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

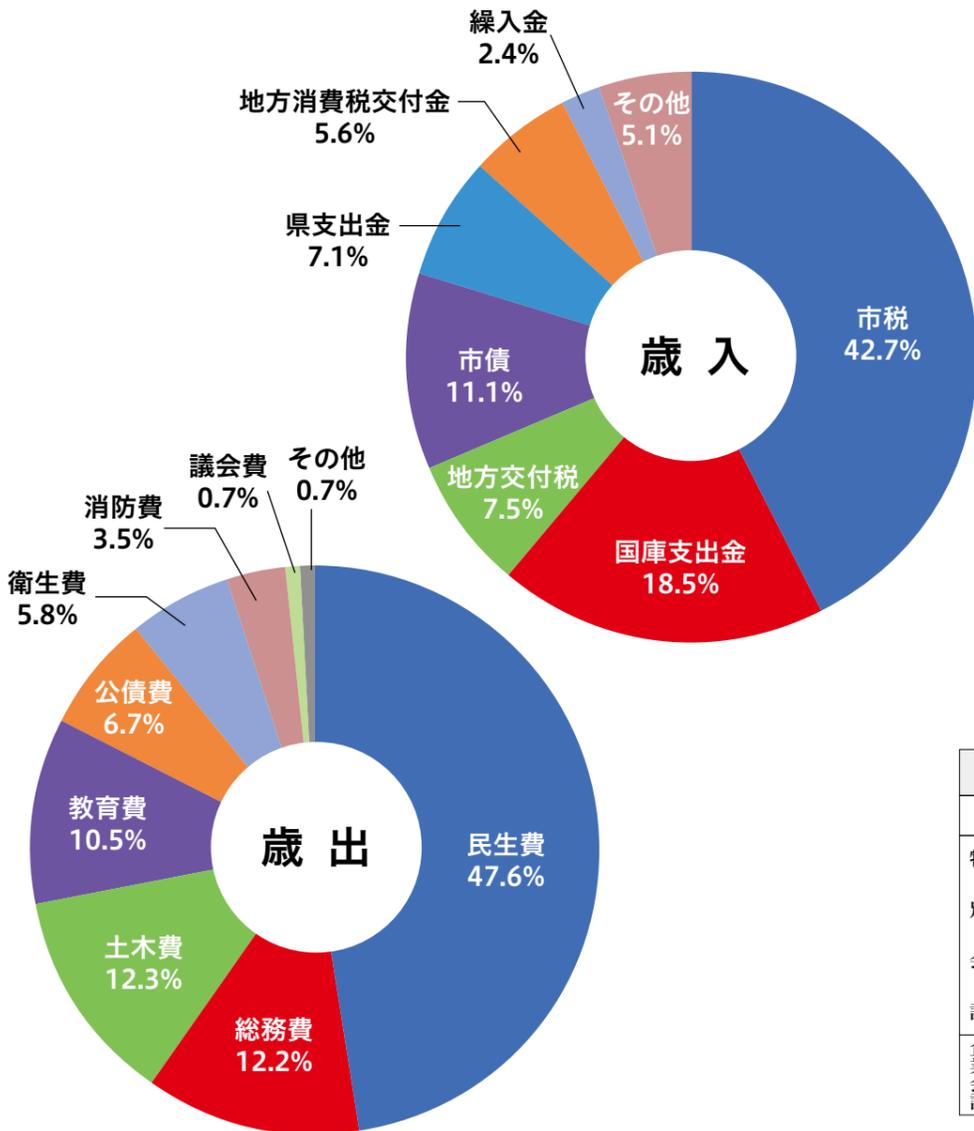
市民生活向上に活発な論議

令和2年度

一般会計当初予算 365億7,181万1千円

対前年度比5.0%増

●一般会計当初予算構成●
総額36,571,811千円



議案第18号
令和2年度富士見市一般会計予算 (賛成多数可決)

本予算は総括質疑の後、予算決算常任委員会に付託し、建設環境分科会、文教福祉分科会、総務分科会、文教福祉分科会を行いました。議会最終日の3月17日に、本会議で予算決算常任委員会委員長が審査結果報告を行った後、質疑、討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決したものです。

令和2年度一般会計当初予算額は365億7181万1000円で、前年度に比べ5.0%の増となりました。

本市において過去最大規模の予算額となった主な要因としては、富士見橋通線やびん沼自然公園、鶴瀬駅東口駅前広場の整備などの普通建設事業費の増加のほか、扶助費の増加等によるものです。

令和2年度各会計予算

会 計 名	予 算 額	対前年度比率 (%)
一 般 会 計	36,571,811千円	5.0
特 別 会 計		
国 民 健 康 保 険	9,507,128千円	△ 4.0
介 護 保 険	7,384,563千円	4.9
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,287,657千円	6.8
鶴 瀬 駅 西 口 土 地 区 画 整 理 事 業	293,685千円	△ 29.4
鶴 瀬 駅 東 口 土 地 区 画 整 理 事 業	457,053千円	△ 40.3
企 業 会 計		
水 道 事 業	2,360,409千円	△ 3.3
下 水 道 事 業	3,266,416千円	△ 1.5

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて ―議会としての取組―

全国的なコロナウイルス感染拡大の状況の中、富士見市でも「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、学校の一時休校や公共施設の原則休館、市主催のイベント等の中止や延期など、様々な対策が行われました。

このような状況を踏まえ、市議会としても市の動きに配慮するとともに、感染拡大防止の観点から、傍聴の自粛や市政一般質問を取りやめるなどの対応をいたしました。

また、議会としての機能を生かし、定例会最終日には、この問題に対する市の取組に対して緊急質問を行うとともに、政府への意見書の送付を全会一致で可決し、関係機関に送付しました。

今定例会は、子育て支援や安心安全な市民生活を守るための予算等を審議する重要な議会でしたが、このような状況から異例の対応を行いましたことについて、市民の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス問題につきましては、引き続き市と連携して、対応にあたってまいります。

一般質問を取りやめました

本市議会は、今定例会では5日間にわたり18人の議員がこの市政一般質問を行う予定でしたが、新型コロナウイルスに関する諸般の事情を踏まえ、全議員合意のもと、市政一般質問を取りやめ、この5日間を休会といたしました。

このような措置は、昭和47年に本市議会が始まって以来初めてのことです。

市に緊急質問を行いました

定例会最終日に各会派の代表議員6名が「市の新型コロナウイルス感染症対策」に対する緊急質問を行いました。

主な質疑について掲載します。

◎ 休校を決定した経過や休校前の子ども達への指示は

◎ 2月27日、国・県の要請を受け教育委員会で決定、市の感染症対策本部の了承後、翌日の臨時校長会で3月2日から3月26日までを臨時休校とすることを説明。子ども達には感染防止のための対応を説明。学習面ではこの時点で可能な範囲での家庭学習を行うよう校長会で指示した。

◎ 一斉休校の実施に伴う、児童生徒への学習支援や生活支援は

◎ ホームページで出来る家庭で学べる教科等の学習の紹介や、各学校においては課題や学習プリントを準備し学習支援をしている。生活支援としては、不要不急の外出を控えることをお願いし、電話等でも連絡をとって、子ども達の生活状況を把握している。

また、自宅に一人で過ごすことができない低学年児童や特別支援学級、特別支援学校の児童生徒に限り、各学校で受け入れを行っている。

◎ 文部科学省の見解に基づき、学校教職員が放課後児童クラブに登室している児童の支援に当たるための検討は

◎ 臨時校長会において、放課後児童クラブと連携し、必要に応じて施設の提供や教職員の支援を可能な範囲で行うよう指示した。今後も、関係機関と連携し、感染拡大の防

止に努めるとともに、児童の居場所確保に対応していく。

◎ 公共施設の利用休止に伴い、施設利用料の還付が2月27日以降となった理由は

◎ 2月26日に開かれた市の感染症対策会議において、国・県の方針を踏まえ協議した結果、2月27日から3月10日までの間、市主催のイベント等の延期・中止を決定。この方針に基づき還付の対象を2月27日以降とした。

◎ 中央図書館やピアザ内の「喫茶ゆい」の休業に対する金銭的対応は

◎ 行政財産使用料は免除措置を講ずるが、行政財産使用許可条件において公共に供する場合、損失補償は行わないことになっている。

◎ 市内でも感染者が確認されたが、感染者を増やさないための今後の市の取組は

◎ 市のホームページで感染症関連の新たな情報をこまめに更新するほか、ラインやツイッター等での情報発信、チラシやポスターなどの紙媒体での周知を行う。広報富士見でも感染予防と相談窓口について、改めて掲載する。

緊急質問とは

一般質問とは異なり、災害や突発的な出来事などで、緊急に質問する必要がある場合に、議会の同意を得て行われる質問です。

政府に意見書を送付しました

新型コロナウイルス対策に万全を期することを求める意見書(要旨)

新型コロナウイルスに関する様々なニュースが連日報じられる中で不安が募ることによる生活や健康面へのさらなる影響を危惧する声もある。同時に自粛ムードに伴う消費の冷え込みや経済活動の停滞による地域経済への影響を懸念する声や飲食店をはじめ地元商工業者等からも寄せられていることから、富士見市議会は、政府に対し次の事項について万全の対策を講ずるよう求めるものである。

意見書とは

地方自治法第99条の規定に基づき、市議会は市の公益に関することについて、国や県などの関係機関に対し、議会の意思をまとめた文書を提出することができ、本会議で多数決により決定します。

提出先

- 1 新型コロナウイルス関連の正確な情報の開示及び提供に努めること。
 - 2 重症化が危惧される高齢者等への感染防止対策の強化を進めること。
 - 3 環境の変化に伴い懸念される子どもたちへの十分なケア体制を構築すること。
 - 4 子育て家庭への支援策を十分に整えること。
 - 5 影響が懸念される事業者及び働く人々たちへのよりきめ細やかな支援策を講じること。
 - 6 検査・医療体制の強化策を進めること。
 - 7 風評被害も含め感染者等への人権には十分に配慮すること。
 - 8 最前線での対応にあたる自治体からの要請に十分配慮するとともに財政面も含めた包括的な支援を行うこと。
- 内閣総理大臣 文部科学大臣
厚生労働大臣 農林水産大臣
経済産業大臣

一般会計予算に対する 会派の討論

日本共産党(反対)

昨年台風19号の被害や10月からの10%消費増税に加え、新型コロナウイルスの影響で市民の暮らしは更に困難になると考える。

2020年度予算は、富士見橋通線やびん沼自然公園整備の見直し、シテイゾーン計画、鶴瀬駅東口整備事業などハード面での事業が多い一方、国民健康保険税の引き上げや後期高齢者医療保険の軽減税率の廃止など市民の社会保障費の

負担が増えることから十分な予算措置とは言えない。

また、シテイゾーン計画は市民には全く説明がなく、幅広く市民に呼びかけ説明会を行い環境問題・交通渋滞の問題・水害対策・公園整備など意見を聞くべき。市内循環バス料金の値上により「老人福祉センター」に行くのに今までは無料だったが20回行くくと400円もかかる」との声がある。今後分析を行い見直すべき。保育行政は155人の保育児を重く考え検討することが必要。昨年の12月議会に全会一致

市民の絆(賛成)

で可決された請願「小中学校体育館へのエアコン設置」は早急に検討すべき。市民の暮らしや将来不安にしっかりと寄り添い、地域の資源を最大限に活用し、暮らし応援、地域密着の事業を進める市政への転換を求め反対とする。

令和2年度予算は、前年度を上回り過去最大の規模であり、誰もが住みたい選ばれ富士見市を目指したとしており、更なる発展を期待する。

歳入面では、納税者増などで増収を見込んでいる。しかし、消費税の増税で打撃を受けている中「新型コロナウイルス」関連により、市民生活は厳しくなるのは必至であり、今後、補正予算の準備が必要になることを心配する。

歳出面では、子育て支援のサポートを含めた子ども未来応援センターの充実、高齢者にはフレイルチェックを導入した健康づくり、台風被害の経験からの浸水・防災対策、シテイゾーン・水谷柳瀬川ゾーンでの企業誘致、産業振興

基金を利用した商工業の活性化などの賑わいづくりの取組を評価する。

課題としては、東武東上線をまたぐ東西交通の立体化、公共交通ではバス路線の充実やデマンドタクシー導入後の検証、循環バスの料金改定は反対の声が多いことを指摘する。また、子育て世代への支援として学校給食費の無償化や、安心して働くことが出来る公契約なども視野に入れていきたい。今後も、人に優しい富士見市を目指し評価と指摘をして賛成とする。

21. 未来クラブ(賛成)

令和2年度富士見市一般会計予算は365億円を超える規模で、2年連続で前年度当初予算を上回りました。主な要因としては、富士見橋通線やびん沼自然公園、鶴瀬駅東口駅前広場の整備や扶助費の増加などによるものとされ、弾力的かつ持続可能な財政運営に留意した、当市の未来を見据えた施策に取り組む予算編成であると認識しています。

主な施策としては、利便性の向上となるコンビニ交付サービスの実施や高齢者介護予防促進事業フレイルチェック、「子どもサンサンプロジェクト」や東京オリンピック・パラリンピック関連事業などがあり、その他にもたくさんの方の施策が盛り込まれています。

歳入では、市税の総額が156億円を超え過去最大の税収規模となっています。また、地方交付税交付金は20億円以上の見込みとなっていますが、市債が5億円を超える増となっていることに留意し、引き続き歳出の見直しや国や県からの補助金等特定財源の有効な活用、取納率向上、効果的な資金運用など、更なる自主財源の増収を目指していただきます。

以上、当市の未来に向けての予算であることを評価し賛成の討論といたします。

公明党(賛成)

令和2年度の予算は2年連続で前年度当初予算を上回り過去最大の予算額となった。主な特徴は、市の活気と賑わいにつながる取り組みとして、

シテイゾーンへの産業団地整備の推進やびん沼自然公園のリニューアルなどがあり、今後の市の発展に期待する。子育て支援では、新規事業として産婦健康診査が盛り込まれ、母子保健事業が一層充実するものと考えられる。

教育の充実ではSTEM教育の実施や実用英語検定受験費用補助金の交付、小中一貫教育支援の配置などの新たな取組があり、児童、生徒への支援の前進に期待する。

市民生活の安心安全を高める施策では、振り込め詐欺対策を強化する。同時に富士見市や日本の選手を応援する取組にも期待する。

さらに共生社会ホストタウンとして、福祉行政の推進のためにレガシーの創出も期待している。運動公園については、昨年の水害を思うと新たな施設の整備も視野に入れる必要がある。

日本維新の会(賛成)

予算編成作業時には予想しえなかった世界規模の新型コロナウイルス問題により、前提が大きく変わった。影響を受けた中小企業や雇用、学校休業による母子・父子家庭への影響、家庭の経済状況により4月に進学・進級する学生への影響も懸念される。これらの点を考慮した迅速な補正予算編成を求める。

個々の指摘としては、旧青年の家跡地活用で、バーベキュー場やパークゴルフ場の開設・指定管理者制度の導入が予定されているが、しっかりと競争されること、また自主財源確保の検討を求める。

職員採用についても、「就職氷河期世代」の採用などの取組を今後も継続されることを検討いただきたい。

ブロック塀耐震への補助金が令和元年度に引き続き計上されたが、元年度の補助実績がまだ1件である。平成30年6月の大阪府北部地震で小学生が犠牲になった悲劇を風化させてはならない。周知の取

組を強く求める。

今、全国の基礎自治体に求められているのは、新型コロナウイルスの感染拡大阻止はもちろん、それによる不況・経済問題で命を落とす人を絶対に出さないことである。そのための取組を強く求め賛成とする。

令和2年度は過去最大の予算規模となる。内容については東京オリンピック・パラリンピックを控え、セルビア共和国を応援する姿勢は十分評

価している。同時に富士見市や日本の選手を応援する取組にも期待する。

草の根(賛成)

令和2年度は過去最大の予算規模となる。内容については東京オリンピック・パラリンピックを控え、セルビア共和国を応援する姿勢は十分評

価している。同時に富士見市や日本の選手を応援する取組にも期待する。

さらには共生社会ホストタウンとして、福祉行政の推進のためにレガシーの創出も期待している。運動公園については、昨年の水害を思うと新たな施設の整備も視野に入れる必要がある。

冒頭にも述べたが、令和2年度は過去最大の予算となる。財政規律の観点も踏まえ、自主財源の確保と財政の健全性を維持することに努めることを期待し賛成とする。

令和2年度は過去最大の予算となる。内容については東京オリンピック・パラリンピックを控え、セルビア共和国を応援する姿勢は十分評

価している。同時に富士見市や日本の選手を応援する取組にも期待する。

さらには共生社会ホストタウンとして、福祉行政の推進のためにレガシーの創出も期待している。運動公園については、昨年の水害を思うと新たな施設の整備も視野に入れる必要がある。

冒頭にも述べたが、令和2年度は過去最大の予算となる。財政規律の観点も踏まえ、自主財源の確保と財政の健全性を維持することに努めることを期待し賛成とする。

議案審議報告

議案第5号
富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

〔賛成多数可決〕
令和元年度人事院勧告等に伴う見直し等のため、条例を改正するものです。

- ①給与表の水準を引き上げ
- ②勤続手当を0.05月分引き上げ
- ③住居手当の見直し
- ④勤続手当基準額の見直し

議案第13号
令和元年度富士見市一般会計補正予算(第7号)

〔賛成多数可決〕
既定の予算に3億905万9000円を追加し、予算の総額を359億247万7000円とするものです。

- ・公共施設の老朽化対策等に備えるため、公共施設整備基金への積立てを行うための補正
- ・「3億400万円」
- ・給付単価の改正等に伴い、管内施設型・地域型保育給付費を増額するための補正
- ・「820万円」
- ・国の補正予算を活用し、諏訪小学校トイレ改修工事(第2期)及びみずほ台小学校校舎ガラス飛散防止フィルム貼付工事を前倒し実施するほか、国庫補助金の交付決定等に伴う財源内訳更生をするための補正
- ・「1億7154万9800円」

議案第26号
工事変更請負契約の締結について

〔全会一致可決〕
「岡川排水機場増強工事(土木・建築)」

議案第27号
工事変更請負契約の締結について

〔全会一致可決〕
「岡川排水機場増強工事(機械・電気)」

議案第28号
工事変更請負契約の締結について

〔全会一致可決〕
「木染橋耐震補強等工事(第3期)」

議案第29号
富士見市教育委員会教育長の任命について
(全会一致同意)

令和2年3月31日で任期満了となる山口武士氏を、再び任命することに同意したものです。

議案第31号
富士見市公平委員会委員の選任について
(全会一致同意)

令和2年3月31日で任期満了となる塚田小百合氏を、再び選任することに同意したものです。

議案第30号
富士見市教育委員会委員の任命について
(全会一致同意)

令和2年3月31日で任期満了となる五十嵐洋太氏の後任に、深井美千代氏を任命することに同意したものです。

議案第32号
富士見市固定資産評価審査委員会委員の選任について
(全会一致同意)

令和2年3月31日で任期満了となる細田康弘氏を、再び選任することに同意したものです。

就任のあいさつ



副議長 田中 栄志

3月定例会において、副議長に就任いたしました。富士見市では2021年度から始まる、今後20年の将来都市像を示す「富士見市総合計画」を策定中です。議会としても、富士見市を取り巻く環境が大きく変化する中で、市民の皆様

声をしっかりと伝えていきたいと思っております。

議会全体が市民の皆様期待に応えられるように、チーム議会の一員として、議長とともに、より良い富士見市、より良い富士見市議会のために、一層尽力して参りますので、ご支援ご協力の程よろしくお願いたします。

議会内人事改選

今定例会において、副議長選挙が行われました。選挙結果は以下のとおりです。

【副議長選挙の結果】

田中 栄志 20票 (当選)

- 議会運営委員会委員に齊藤隆浩議員が選任されました。また同委員会の委員長の互選が行われ、関野兼太郎委員が委員長になりました。
- 下記の特別委員会が設置され、委員の選任及び正副委員長の互選が行われました。

総合計画検討特別委員会 (定数21人)*欠員1人	○委員長 齊藤 隆浩 ○副委員長 根岸 操 委員は正副委員長を含む全議員
-----------------------------	--

■次回(6月)定例会の予定■

- 6月 2日(火) 開会、議案説明
- 5日(金) 議案総括質疑
- 9日(火) 10日(水)・18日(木) 常任委員会
- 11日(木)・12日(金)・15日(月) 16日(火)・17日(水) 市政一般質問
- 23日(火) 委員長報告、採決、閉会

※日程は変更になる場合もあります。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 会議終了後1週間程度で配信
スマートフォン・タブレット・パソコンで視聴できます。

富士見市議会 検索

市民の声

富士見市にもっともっと笑顔を

月岡 秀己

ららぽーと富士見がオープンして5年目を迎えました。私も地元で商売をしており、影響がなかったとは言えません。休日の方が市内外から来店し、特に、若いうちから一層で賑わっています。地元の商店も品運動、毎月23日は富士見の日を実施し盛り上げようとしていますが、まだPR不足は否めません。そちらは、知って・見て・買ってもらう場「ふじみぼーと」を開設してはどうでしょうか?自然豊かな富士見市は、魅力の宝庫です。例えば、お散歩や釣り、ポイント「スマイルスポット」を充実させよう!今後も魅力あふれる富士見市を目指して、仲間と共に協力できればと思います。地元の方は勿論、富士見を訪れた皆さん、キラキラ笑顔のために、そして

《総務常任委員会》
陳情第2号
「香港当局に事態の改善や在留邦人の安全確保等を求める決議」の採択を求める陳情
(不採択)
陳情者 香港の人権問題を考える埼玉県民の会
小野 和春

陳情審査報告

この議決の効力は、令和2年4月1日から適用する。

意見書(要旨)

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

1 政府が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査結果が昨年3月に公表されたが、40〜64歳のひきこもりが全国で約61万人にのぼるといふ推計は社会に大きな衝撃を与えた。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者の親とともに社会的に孤立するケースも少なくない。政府としては、これまで都道府県・政令指定都市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後はこれまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。よって、富士見市議会は、政府に対し、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

2 中高年のひきこもりにあてはまる者に適した支援の充実を図るため、市区町村による「ひきこもりサポート事業」のさらなる強化を図ること。具体的には、中高年が参加しやすくなるような居場所づくりやボランティア活動など就労に限らない多様な社会参加の場の確保。さらには家族に対する相談や講習会などの取り組みを促進すること。

3 「8050問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるような、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援することが出来る新たな仕組みを構築すること。

全文は議会ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。

内閣総理大臣 厚生労働大臣
貸し出し用ヒアリンググループに国の補助の拡大を求める意見書

高齢社会となるなかで、身体障害者とは認定されない中度・軽度の加齢性難聴者への補聴器購入費補助制度やハード面の整備は急務の課題である。

厚生労働省は、2019年度から障害者ICTサポート総合推進事業を新設し、このなかで都道府県、政令指定都市、中核市が貸し出し用ヒアリンググループを整備した場合は費用の2分の1を補助する制度を開始した。すでに実施しているところも補助の対象になり、千葉県船橋市では国から2分の1、県から4分の1の補助がつくとわかった。

よって、富士見市議会は、政府に対し、すべての自治体でヒアリンググループの設置が促進されるよう、補助の対象を市町村にも拡大していただきたく要望する。

提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣

「富士見市の将来を考える」特別委員会を設置しました

現在、市で策定中の富士見市総合計画について、計画内容の検討や市議会としての意見を集約して総意を執行部へ提案する場として、また、上程案を審査するため、議員全員が委員となって構成する総合計画検討特別委員会を設置しました。

設置期限は、審査及び調査が終了するまでとし、閉会中の継続調査としました。

議会のICT化を目指して

2月10日、富士ソフト株式会社の方を講師に迎え、モアノート研修を実施しました。市議会では、平成29年5月よりタブレット端末で「モアノート(ペーパーレス会議システム)」を導入し議会運営に活用しています。当日は20人の議員が出席し、実際にタブレットを操作しながら、基本的な機能の再確認や新しい機能の説明を受けました。



持続可能な開発目標とは

1月22日、市議会では「株式会社ふるさぽ」の中島達郎氏を講師に迎え、SDGs研修を実施しました。

研修目的は、国連において全会一致で採択され、世界の共通言語となりつつある「SDGs」について学び、これからの議員活動に役立てていくことです。

当日は20人の議員が出席し、座学で講師の説明に耳を傾けた後、ロールプレイングを通じて地方創生を体感できるカードゲームを実施し、全員が積極的に取り組みました。



編集後記

3月定例会は、新型コロナウイルス感染症に関わる状況も注視しながらの議会運営となりました。

本市においても感染拡大防止に向けて一斉休校や公共施設の休館などの対策を講じましたが、さらに市民生活への影響を最小限にとどめる取組に注力すべきとの観点から議会としてもできる限りの対応をいたしました。

この度の事象も踏まえ、安心安全な暮らしのために引き続き取り組んでまいります。